

「足助の町並みのデザインを考える」

(3回講座)

重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定された足助の町並み。この町並みは、観光資源としての活用や補助による景観整備に対する期待がある一方、生活の場としての存続や文化財としての建物の扱い方に対する不安も抱えています。

今回の講座では、町並みの歴史や景観の基本となる個々の建物のあり方などから、足助の町並みのこれからの姿をどのように描くのかについて考えます。

記

開催日時 平成25年 9月14日(土)・21日(土)・28日(土)
各日午後2時～4時(受付開始は午後1時30分)

会場 豊田市足助町本町15番地 寿ゞ家 南棟(新館)2階座敷

内容

第1回 「足助の町並みの成立について」

講師：郷土史家(元豊田市史編さん室) 鈴木昭彦氏

第2回 「文化財建造物の繕い方」

講師：(株)魚津社寺工務店 工事部所長 野口英一朗氏

第3回 「文化財を使い続ける—何を残し、伝えるか—」

講師：名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 教授 溝口正人氏

参加費 一般 1,000円(3回分)、地域人文化学研究所会員は無料

募集人数 15名(応募者多数の場合は先着順)

申込方法 件名「講座参加希望」と、氏名・住所・連絡先電話番号を明記の上、下記の主催者宛てにメール又はFAXにてお申し込みください。受付期間は、平成25年8月5日(月)～8月25日(日)です。

主催 地域人文化学研究所
〒444-2424 豊田市足助町本町15番地 (寿ゞ家内)
FAX (0565) 80-5576
mail : catalyst-r@live.jp

共催 愛知大学 中部地方産業研究所